

部 局	消防局	補 職	消防局長	氏 名	小倉 博
-----	-----	-----	------	-----	------

1. 部局の使命

市民の生命、身体及び財産をあらゆる災害や事故等から保護するため、火災または地震等の災害による被害を軽減するほか、市民、事業者、医療機関との連携による「救命力」の向上や広域連携、消防体制の見直しによる消防力の強化を図り、安心して安全なまちづくりを推進します。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>○消防局は、応急対策を中心とした防災を担う行政機関として、消防車両や消防水利などの防災基盤の整備を図り、消防力の確保と救命力世界一の推進など、豊中市にふさわしい市民サービスが提供できるよう取り組みます。</p> <p>○火災予防体制の充実と自主救護能力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進します。</p> <p>○実現できるところからの消防の広域連携を推進し、消防資源の効率的な運用を図ります。</p>	<p>○防災基盤の整備として消防車両等の更新整備を計画に沿って進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> *高規格救急自動車 1台 *小型動力ポンプ(C1級・台車付) 2台 *耐震性貯水槽設置(西町3丁目第1公園) 60立方メートル 1基 <p>○救急救命体制の強化については、救急活動円滑化のため、救急タグの普及啓発を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> *救急タグ配布枚数 3,351枚 累計6,492枚 *ジュニア救命サポーター事業実施小学校数 16校 1,537人 *救命講習受講者数 13,810人 <p>○火災予防体制の充実と自主救護能力の向上については、住宅防火対策や防火対象物の違反是正の強化を図るとともに、自主防災組織や消防防災協力事業所等の訓練支援を行い、災害に強いまちづくりを推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> *自主防災組織に対する訓練指導数 79組織3,350人に訓練指導実施(実施率49%) *消防防災協力事業所登録数316事業所 <p>○消防の広域連携については、池田市との消防指令業務の共同運用並びに能勢町消防事務の受託を計画に基づき業務を遂行しました。また、豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市の5市による消防指令業務の共同運用について、協議会で具体的な調整、検討を実施するとともに、近隣市町との実現可能な広域連携について検討を行いました。</p> <p>○総括として、「市民力」「地域力」を消防資源として取り込みながら消防行政を推進し、市の防災基盤及び消防体制の強化を図りました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の変更や中止を行いました。が、対応策としてYoutubeの活用やSNS等での広報を積極的に実施したことにより、概ね取り組み方針に沿った事業を遂行できました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
1	<p>消防の広域連携の推進</p> <p>○池田市との消防指令業務の共同運用及び能勢町消防事務の受託について、計画等に基づき業務を遂行するとともに、近隣市町と実現可能な消防の広域連携について検討を進めます。これにより、相互の消防力の強化を図り、住民の安心・安全を向上させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 計画等に基づく消防広域連携業務の実施及び運営管理 * 近隣市町と実現可能な消防広域連携について検討 <p>○豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市消防通信指令事務協議会において、令和6年(2024年)4月からの消防指令業務共同運用に向けて具体的な検討を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 財政面、人員面等の詳細について関係部局と調整 * 広域消防指令情報システムの構築業者を決定する調達仕様書を作成(令和4年3月) 	<p>○計画等に基づく消防広域連携業務の実施及び運営管理</p> <ul style="list-style-type: none"> * 池田市との消防指令業務連絡会(11月) * 能勢町との消防事務の受託に関する定期協議(8月・2月) * 尼崎市消防局との人事交流研修の実施(12月) <p>○豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市の5市での消防指令業務共同運用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> * 5市消防通信指令事務協議会(9月、12月、1月) * 5市消防通信指令事務協議会幹事会(8月2回、12月、1月) * 5市消防通信指令事務協議会システム整備委員会(計20回) * 広域消防指令情報システム構築業務調達仕様書案完成(3月) ※5市消防通信指令事務協議会の正式名称は豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市消防通信指令事務協議会です。 	<p>○計画等に沿って、池田市との消防指令業務の共同運用及び能勢町の消防事務を実施します。</p> <p>○5市での消防指令業務の共同運用について、令和6年(2024年)4月からの運用開始に向けて、協議会で具体的な検討・調整を図ります。</p> <p>○近隣市町と実現可能な広域連携について検討を進めます。</p>	
	総合計画			
	2-3-②	消防体制を充実強化します。		
	基本政策			
53	広域自治体事務共同処理の推進			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>ジュニア救命講習など「救命力世界一」の取組みの推進</p> <p>○ジュニア救命講習の全校実施に向けた取組みや、地域イベントでの救命講習などの実施について、eラーニングやSNSなどを活用した受講環境作りを進め、地域に根ざした応急手当普及啓発活動を展開することにより救命手当の一層の普及に取り組み、市民の救命力を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> *ジュニア救命サポーター事業の実施 *市民救命サポーター制度の実施 <p>○救急需要対策を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> *救急安心センターおおさかの利用率向上の取組み *救急タグの普及啓発 <p>○「119救命サポートチーム」を中心に、119番通報に対する心肺蘇生法などの口頭指導體制の充実強化を行い、救命力の向上をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> *口頭指導プロトコル※の実施等 ※口頭指導プロトコル <p>119番通報等救急要請受信時に、救急現場付近にある者に、電話等で応急手当の協力を依頼し、口頭で応急手当の指導を行う手順のことで。</p>	<p>○ジュニア救命サポーター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> *ジュニア救命講習実施校 16校 <p>1,537人</p> <p>○市民救命サポーター制度の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> *市民救命サポーター・ステーション認定事業所数 184事業所 *市民救命サポーター・ほーむ登録者数 4,253人 <p>○救急需要対策</p> <ul style="list-style-type: none"> *救急安心センターおおさか医療相談件数 15,197件 *救急タグ配布実績3,351枚・活用実績71件 累計配布実績6,492枚・累計活用実績80件 <p>○口頭指導プロトコルの実施等</p> <ul style="list-style-type: none"> *指令員に対し、119番通報の内容から、重症度・緊急度の判定を的確に判断するため、救急救命士が中心となって様々な状況に応じた聴取方法の研修を実施 *口頭指導技法研修会(10月、2回 8人) *指令員対象研修(2月、3回 27人) 	<p>○新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、今後も柔軟に市民への救命講習受講体制等を検討します。</p> <p>○教育委員会、各小学校と緊密な連携を図り、ジュニア救命講習の市内全小学校実施に向け取り組みを進めます。</p> <p>○救命講習を応急手当Web講習(eラーニング)活用コースを新設し、講習時間の短縮を図るとともに、受講しやすい環境作りを進めます。</p> <p>○心肺停止の約65%が自宅で発生しているため、自宅での心肺蘇生法の流れを講習に盛り込みます。</p> <p>○心肺停止事案の約80%が高齢者であり、救急現場に居合わせた人による心肺蘇生により、社会復帰が増加することから、高齢者への救命講習の受講を促します。</p> <p>○「救急タグ」「救急安心センターおおさか」の広報</p> <p>○「119救命サポートチーム」を中心とした口頭指導體制の充実強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> *令和4年度(2022年度)から運用開始する映像通報システム「Live119」の効果的活用に向けた検証、検討 *映像通報システム「Live119」の積極的な広報
	<p>総合計画</p> <p>2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。</p>		
	基本政策		
	0		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>地域防災力の育成による自主救護能力の向上</p> <p>○自主防災組織や消防防災協力事業所への、消火・救急・救助などの訓練について、WEB等を活用しつつ、感染症まん延状況により参加人員を調整するなど、感染防止を徹底したうえで実施し、身に付けた技術を組織や事業所に広めていただくことにより、南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生時における豊中市の自主救護能力を高めます。自主防災組織への訓練については、実施率60%をめざします。また、消防防災協力事業所の育成支援を行います。</p> <p>* 自主防災組織に対する訓練実施 * 消防防災協力事業所の育成支援</p>	<p>○自主防災組織に対する訓練の実施 * 79組織3,350人に訓練指導実施(実施率49%) * 自主防災組織合同研修会(新千里消防署 11月) ○消防防災協力事業所の育成支援 * 合同防災研修会(11月、2月) 58事業所114名 * 登録事業所数316事業所 ○防災訓練ハンドブック※を活用した自主防災組織、消防防災協力事業所に対する効果的な訓練の実施</p> <p>※『防災訓練ハンドブック』 大規模災害時の応急活動のうち、代表的な①初期消火、②救助救出、③搬送法、止血法等を取り上げ、地域の住民、事業所が、身近にある資機材を用いた応急活動の実施方法を学ぶために、令和2年度(2020年度)に作成したもので、令和3年度(2021年度)から、自主防災組織、消防防災協力事業所に対する訓練で活用しています。本ハンドブックには二次元コードを付しており、読み込むと各訓練動作を動画で視聴でき、訓練後の復習や教養に活用できます。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、今後も柔軟に自主防災組織への消防訓練指導や消防防災協力事業所への育成支援を行います。</p> <p>○自主防災組織、事業所等への積極的な訓練の勧奨、指導を行います。</p> <p>○市内事業所へ消防防災協力事業所への登録を呼びかけ、地域防災力の向上を図ります。</p> <p>○防災ハンドブックを訓練指導等で効果的に利用し、自主防災組織、消防防災協力事業所の自主救護能力の知識、技術を深めていきます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>0</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
4	<p>警防体制の強化</p> <p>○「指揮調査隊」による現場指揮体制の充実強化を図るとともに、「特別消火隊」を中心とした消火技術の向上や「高度救助隊」を中心とした救助技術の向上、「特殊災害対策専門班」による特殊災害対応力の強化のため、部内研修や想定訓練などを充実させることにより、警防体制を強化します。</p> <p>なお、上記の研修や訓練については、感染防止を徹底したうえで実施します。</p> <p>* 指揮調査隊による各種訓練の企画・実施 * 特別消火隊による指導及び消火技術向上のための研究や訓練の実施 * 高度救助隊による救助技術向上のための研修や訓練の実施 * 特殊災害対策専門班による部内研修や訓練</p> <p>○消防力を強化するためICTの活用を検討 * 協定締結企業との災害時におけるICT活用の実施</p>	<p>○指揮調査隊による各種訓練の企画実施 * はしご車操法技術錬成会(5月) * 指揮調査隊教養研修・訓練(随時) * 実戦ポンプ操法大会(2月)</p> <p>○特別消火隊による指導及び消火技術向上のための研究や訓練の実施 * 実火災体験型訓練(10月) * 火災防ぎょ中隊訓練(12月)</p> <p>○高度救助隊による救助技術向上のための研修や訓練の実施 * 水難救助訓練(6月～8月) * 救助隊合同研修及び訓練(6月、11月、2月) * 交通事故を想定した実車破壊救助訓練(10～3月) * 国際救助隊(IRT) 隊員訓練(年度内4回)</p> <p>○特殊災害対策専門班による部内研修や訓練 * 水防訓練(4月) * 大阪府高圧ガス防災訓練(10月) * 特殊災害対策部内教養(水災害)(11月) * 特殊災害対策合同訓練(水災害)(11月) * 大阪国際空港航空機事故対策総合訓練(11月)</p> <p>○災害時におけるICT活用の実施 * 災害時等の無人航空機(ドローン) 支援協力に関する協定を締結した民間事業者との連携訓練(11月)</p>	<p>○「指揮調査隊」を中心に、現場指揮体制の充実強化を図ります。</p> <p>○「特別消火隊」を中心に、消火技術の向上を図ります。</p> <p>○「高度救助隊」を中心に、救助技術の向上を図ります。</p> <p>○「特殊災害対策専門班」を中心に大規模イベント等によるテロ災害を含む特殊災害対応力の強化を図ります。</p> <p>○消防力を強化するため、災害現場でのICT活用を検討します。</p>	
	総合計画			
	2-3-②	消防体制を充実強化します。		
	基本政策			
0				

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	<p>人材育成に関する取組みの推進</p> <p>○「豊中市消防局人材育成実施計画」に基づき研修体制の充実や職員が能力を発揮できる環境をつくることにより、職員個々のレベルアップや士気の高揚、災害対応力の強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> *各種職員研修の実施 *各種資格取得研修の実施 *再任用職員の活用 *女性消防職員活躍推進の取組み <p>○各種研修の実施について、新型コロナウイルス感染症対策として、ICTの活用などデジタル・ガバメントを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> *オンライン研修体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> *部内階層別研修 *各種団体への委託研修 *新人職員研修 *再任用職員の活用 *女性消防職員活躍推進の取組み ○デジタル・ガバメントの推進 <ul style="list-style-type: none"> *WEB職員採用説明会（5月、8月） *WEB女子学生対象職場体験イベント（2月） *WEBによる職員研修（2月） 	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症やデジタル・ガバメントの推進など、社会情勢の変化に対応した人材育成に関する取組みを推進し、職員の士気高揚、災害対応力の強化を図ります。 ○必要な研修等の選択と集中により効果的な人材育成を行います。 ○市の資格等取得助成制度の積極的な活用などにより、消防活動に必要な資格の取得を図ります。 ○より良い人材育成を計画的に実施するため、消防局人材育成実施計画等を適時改正します。
	<p>総合計画</p> <p>2-3-② 消防体制を充実強化します。</p>		
<p>基本政策</p> <p>0</p>			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	<p>消防団の充実強化</p> <p>○「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき地域に密着した災害活動を実施する消防団の活動を支援し、消防団員の確保の取組みを行うほか、消防団の装備の充実強化を図り、地域の防災力並びに災害対応力を高めます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症まん延による各種行事の開催について、消防団と連携を図りながら取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 消防団活動の支援 * 消防団員の育成支援及び資機材等の整備 * 消防団屯所及び車両等の維持管理 * とよなか起業・チャレンジセンター移転にかかる蛍池分団屯所の建替え工事の基本設計を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○消防団活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> * 地域安全パトロール等での消防団広報活動 * 歳末警戒（12月27日～29日） * 団員数推移【条例定数575人】 4月当初518人→509人（3月1日時点） * 消防団員入団促進広報（1月、団員募集ポスターの掲出） ○消防団の教育訓練等の実施 <ul style="list-style-type: none"> * 指導者養成訓練（10月） * 女性消防団員の震災対応研修（9月） * 消防学校での教育 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部計画変更や中止 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎教育訓練（11月） ○消防団屯所の整備 <ul style="list-style-type: none"> * 蛍池分団屯所の建築設計業務 ○消防団機械器具の整備 <ul style="list-style-type: none"> * 豊島分団今在家班及び小曾根分団浜班の小型動力ポンプの整備 ○消防団員の処遇改善の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、今後も柔軟に消防団の活動支援を行います。 ○消防団の活動を支援し、消防団の充実強化を図ります。 ○老朽化した消防団屯所について、計画に基づき改修等を検討します。 ○とよなか起業・チャレンジセンター移転にかかる蛍池分団屯所の建替え工事を進めます。 ○消防団員の処遇を改善し、減少傾向である消防団員の入団促進に関する取組みを行います。
総合計画			
	2-3-② 消防体制を充実強化します。		
基本政策			
	0		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
8	<p>消防拠点の再整備</p> <p>○各消防署及び消防出張所について、計画的に必要な改修や設備の更新を行うことにより、防災拠点としての機能強化及び消防活動の充実強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 消防拠点再整備について関係部局と調整 * 消防庁舎改修について関係部局と調整 * 施設環境の改善（仮眠室、更衣室、トイレ等） 	<p>○消防拠点再整備に係る課題の検討</p> <p>○消防庁舎改修について関係部局と調整</p> <p>○豊中市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、老朽化した消防庁舎の改修等について検討</p>	<p>○豊中市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、老朽化した消防庁舎の改修等について検討を進めます。</p> <p>○名神高速道路の高架下にある南消防署小曾根出張所の移転について検討を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-3-② 消防体制を充実強化します。</p>		
<p>基本政策</p> <p>0</p>			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
9	<p>新型コロナウイルスを含む感染症対策の推進</p> <p>○新型コロナウイルス感染症のまん延や他の感染症の発生、流行に備え消防職員の感染防止対策を実施します。また、関係機関と情報共有を図るとともに連絡体制を構築します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 感染防止対策資器材及び施設の整備 * 訓練等による知識及び技術の習得 * 新型インフルエンザ等消防業務対応マニュアルの周知 	<p>○職員の新型コロナウイルス感染症等対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> * マスク着用、手洗い、手指消毒、咳エチケット、検温などの基本的な感染症対策の徹底 * 毎日勤務者における、時差出勤、週休日の振替 * 食事の時差、分散の取組み * 会議、打ち合わせのWEB化等 * 消防局新型コロナウイルス感染症対策警防本部の設置（継続） <p>○施設の感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> * 来庁者と職員の動線分け * 窓口へのパーティション設置 * 庁舎消毒及び換気の励行 * 仮眠室の感染防止対策 <p>○業務継続マニュアルの改訂（7月、新型インフルエンザ等消防業務対応マニュアルとして改訂）</p> <p>○救急活動資機材の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> * 救急活動に必要な資器材の備蓄 <p>○訓練等</p> <ul style="list-style-type: none"> * 新型コロナウイルス感染症患者搬送に伴う感染防護服着衣訓練 <p>○新型コロナウイルス感染症対応件数</p> <p>令和3年度（2021年度）648件（令和2年度（2020年度）194件）</p>	<p>○引き続き、様々な感染症対策を実施します。</p> <p>○改訂した新型インフルエンザ等消防業務対応マニュアルを検証します。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>0</p>		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>ジュニア救命サポーター事業の全小学校での実施</p> <p>○ジュニア救命サポーター事業について、新型コロナウイルス感染症対策のため、eラーニングやSNSなどを活用した受講環境作りを進め、毎年市内全小学校(私立小学校含む。)での実施をめざします。これにより、こどもの頃から命の大切さを学ぶとともに、救命手当の必要性を根付かせ救命力の一層の向上を図ります。</p>	<p>～令和6年(2024年)</p> <p>○教育委員会や小学校との調整などによる、ジュニア救命サポーター事業の継続的な実施</p>
総合計画		
	2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。	
基本政策		
	0	
2	<p>近隣市町との消防広域連携の検討</p> <p>○豊能地域をはじめとする近隣市町と相互の消防力の強化を図り、住民の安心・安全が向上するよう、実現できるところからの消防広域連携を検討します。</p> <p>○豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市消防通信指令事務協議会において、令和6年(2024年)4月からの消防指令業務共同運用に向けて具体的な検討を進めます。</p>	<p>～令和6年(2024年)</p> <p>○実現できるところからの消防広域連携の検討</p>
総合計画		
	2-3-② 消防体制を充実強化します。	
基本政策		
	53 広域自治体事務共同処理の推進	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>市民・事業者との協働の取組みの推進</p> <p>○女性防火クラブ・自主防災組織・消防防災協力事業所の育成支援など、市民・事業者との協働に関する取組みを推進し、南海トラフ巨大地震など大規模災害発生時における豊中市の自主救護能力を高めます。</p>	<p>～令和6年（2024年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主救護能力の向上を図る取組みの強化 ○自主防災組織や消防防災協力事業所等の育成支援
	総合計画	
	2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。	
	基本政策	
0		
4	<p>災害対応力の強化</p> <p>○複雑多様化する災害や、増大する救急需要、大規模イベント開催時のテロ災害等への対応力を強化するため、人員体制の効率化を図りつつ、救急救命体制の増強を図るほか、人材育成に関する取組み及び計画的な消防拠点の再整備を進めます。</p>	<p>～令和6年（2024年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人材確保に係る課題の検討 ○人材育成に関する取組みの推進 ○救急救命体制の強化を推進 ○消防拠点再整備に係る課題の検討 ○とよなか起業・チャレンジセンター移転にかかる蛭池分団屯所改築事業（令和5年度運用開始予定）
	総合計画	
	2-3-② 消防体制を充実強化します。	
	基本政策	
0		